



# プレーパーク レポート

第10号

2022年2月  
小鹿野町



コマ、うまく  
回せたよ！

## 新春の外遊びを楽しみました！

1月末、寒い一日でしたが冬晴れの日をたっぷり遊び尽くしました。

昔遊びということで、コマ回しやけん玉を中心に玩具を用意しました。昔遊びの玩具はコツをつかむ必要がありすぐにはできませんが、見た目も子どもの興味を惹く普遍的なデザインでとりあえず挑戦してみようという気持ちをかきたてていました。

子どもの遊び心はもちろんですが、大人の遊び心と挑戦心を刺激していた点も特筆です。夢中になってコマを回す親とまったく別の遊びに興じる子どもという構図がとても良いなと思いました。

うまく回った時の子どもや大人の嬉しそうな笑顔とまわりの歓声が心地よかったです。



## プレーリーダー養成講座

今回のテーマは「リフレクション」。対人支援の仕事に限らず、家族関係などプライベートにも活用ができる学びでした。子どもや家族とうまくいかないやりとりがあった時、ただ反省したりネガティブな感情になるのではなく、自分と相手の感情やニーズのずれに気付いて、今後の行動の変化につながるヒントを得るためのやり方を学びました。多くの人に知ってほしい！と感想でした。





寒かったので焚き火の暖かさがありがたい一日でした。これまではお試しでイモは役場で調達していましたが、ここ最近ではイモを持参する人が徐々に増えてきました。

おイモを焼くための準備も遊びになっており、手が冷たくはありましたが、新聞紙を巻いて水で浸してアルミホイルで包むという一連の流れを覚えている子どもも。

また、前回同様にマシュマロの差し入れもいただき、みんなで焼いて食べました。マシュマロは火加減が難しく、すぐに焦げたり火がついてしまうのですが、それも含めて遊びとして楽しむ光景がありました。

# 遊びの様子



みどりの村の敷地内に落ちていた枯れ枝を使ったお家づくり遊びが後半は盛り上がりました。

初めはプレーリーダーが枝を集めていると、「何しているの？」と好奇心旺盛な子どもたちが寄ってきました。「お家にしようと思って」とイメージを伝えると、その後は子どもたちのアイデアがどんどん出て、大人がつくった遊びのきっかけは子どもたちの遊びに変わっていきました。

小鹿野の大人は遊び心が動く素敵な方が多いです。子どもは遊びのプロですが、「大人」という子どもにとっての最大の環境がうまく関わることで相乗効果が生まれるのですね。



「昔遊びを楽しもう」がテーマの今回でしたが、開始直後は常連の小学生のリクエストでロープを使った木登り遊びが盛り上がりました。

木にかけたロープで自分自身を持ち上げる「人間エレベーター」を大人の見守りのもとで次々と挑戦する子どもたちがいました。小学生は自分の力で、幼児は大人がちょっとり力を貸して、自分の限界にチャレンジの遊び。

テーマに囚われずに遊びの場が展開していく様子は、「プログラムを設けず、子どもが遊びを手作りする」というプレーパークの主旨にぴったりのあり方です。継続してやってきたことの成果を感じました。



楽しかった上記の人間エレベーター遊びですが、ロープは木の枝にかけているだけなので、ちょっとした拍子に手を離せば地面に落ちてしまいます。

危なさや隣り合わせの遊びですが、子どもたちはこういった「リスクへの挑戦」を通して心と身体をアップデートしていきます。

適切な大人の見守りとセットではありますが、今の子どもたちの育ちにとって、とても必要な環境ですね。

ハイライト

